

1 目的

平成 29 年・平成 30 年に改訂された学習指導要領の「前文」において、「持続可能な社会の創り手」を育てる教育（ESD）を全校で取り組むよう記載されている。

この研修では、この「持続可能な社会の創り手を育てる教育 = ESD」とはどのような教育なのかといった基礎を学び、ESD と SDGs の繋がりや学校で ESD を取り組むべき理由や ESD の実践例を知ること、学校現場での ESD 実践に繋がる手法の習得を目指す。

2 研修内容

【講師】

- ・大塚 明 氏（元伊豆市立天城中学校校長）
- ・伊藤 博隆 氏（関東地方 ESD 活動支援センター）

【スケジュール】

13:30	<p><u>開会／オリエンテーション</u>（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 講師自己紹介</li> <li>◆ グループ内自己紹介（①所属・氏名・担当 ②ESD の理解度 ③所属校の教育課題 ④研修に参加した動機）</li> </ul>
13:40 (40分間) (14:20)	<p><u>講義／学習指導要領と ESD</u>（大塚先生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学習指導要領の前文の意味</li> <li>◆ なぜ今 ESD なのか（中教審答申から）</li> <li>◆ ESD の誕生と SDGs との関係（世界の潮流）</li> <li>◆ 天城中学校でどのように ESD を捉え実践したか</li> <li>◆ 実践の様子（写真アルバム）</li> <li>◆ 講義の感想及び質問の共有</li> </ul>
14:20 (40分間)	<p>個人・グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自分の学校や地域の課題を使ってどのような ESD を実践ができるか</li> </ul> <p>1. 地域・学校の SWOT（強み、弱み）をやってみよう →子供たちのとって、自分事にしやすいテーマ →先生に、地域の課題などを掴んでもらいたい →何をテーマにしたら良いかのシミュレーション</p>
15:00 (30分間)	<p>2. 講義：天城中 ESD 実践の成果（大塚先生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ESD 実践の成果とその後（仮設の検証と卒業生の追跡）</li> </ul>
15:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 流山の事例（伊藤）</li> </ul>
15:30 (40分間)	<p>3. テーマを決めて、1年間プログラムづくり（個人作業→GW）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で、何をを目指すか</li> <li>・総合の時間をどう使うか？</li> </ul>
16:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合の時間以外では（各教科、特活、道徳）</li> </ul>
16:10 (10分間)	<p>私の学校ではこのようにしたい（途中のもので良い） 2つ3つ発表</p>
16:20	<p>質疑応答</p>
16:30	<p>振り返り（感想、今後について） 終了</p>